

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	心身状態の変化に伴い今までの様な生活が困難になっている利用者もあり、その人らしい暮らしの支援の工夫を要する。	一人ひとりの考えや人格を尊重し、心身共に充実した日常生活が送れるよう支援していく。	普段の関わりの中で常に情報収集を行い、心身面合わせた健康管理を統一して行っていく。個別化を図る事により、個々の生活パターンに合わせた利用者主体の生活が送れるよう支援していく。	6ヶ月
2	16	職員間や職員と家族との情報交換の濃密化を図る。	職員は、各利用者の情報を把握し、職員同士がそれを共有し合い、家族に対し、情報揭示を行っていく。そうする事で家族との信頼関係を深めるよう努める。	日々の申し送り等で、情報交換の共有化を図る。利用者の情報は統一したもので、家族にもそれを提供していく。	3ヶ月
3	42	食後の歯磨きの声掛けはしているものの、個々に任せている為、毎食後の口腔ケアがおろそかになってしまっている。	利用者全員、毎食後の口腔ケアの習慣をつける。	自立で歯磨きする利用者への声掛けを行い、介助が必必要な利用者に対しては、職員が付き添い見守り声掛けをして、毎食後の口腔ケアを徹底していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。